



探究ニュース ACCESS 2号

平成30年6月27日 東京都立八王子東探究部

◇4月～6月に行われた「人間と社会」の授業のご紹介◇

1学期の人間と社会の授業は、「“問い”の確定・学びの深め方の定着」「関心を広げ、相互の関連付けやその有用性に気付く」というポイントに着目して行いました。

そこで行った活動について、簡単ではありますがご紹介します。

1. ドーピングについての「問い」(ジグソー法による対話)

①4/23 授業分 〈教室・クラス単位で実施〉

(1) 4人班での活動

- A3用紙に自分のドーピングにおける「問い」とそれに対する資料、考えを簡単にまとめる。
- 4人で1分ずつポスターセッションをする。
- 4枚を黒板や壁に貼り、新しい「問い」を黄色の付箋に書いてはっていく。

(2) ポスターツアー。新しい「問い」を黄色の付箋で、「問い」に対する自分なりの答えをピンクの付箋で貼る。



②5/14 授業分 〈体育館・全体で実施〉

(1) テーマごとに割り振られた計54班(3～7人)で、エキスパートチームによる対話を行う。

(2) ①の4人班に戻り、自分のポスターの班をそれぞれポスターセッションする。



○生徒の感想

- 他クラスの人とも交流することで、新たな意見を見つける事が出来、また新たな出会いが生まれた。
- 一つのテーマについて、かなり考えることができたため、活動を終えた後達成感があった。こういった活動をたくさんやっていければ、思考が柔軟になるような気がする。

○「問い」例

- なぜドーピングに手を出してしまうのか。
- いつドーピングは発覚したのか
- なぜドーピングはしてはいけないのか。
- ボードゲームにドーピング検査は必要か？
- ドーピングを撲滅するためには何が必要か？



- ・もし健康被害のない安全なドーピングの薬が開発されたら使用しても良いのだろうか？
- ・意図されたドーピングと意図せずにされたドーピングはどのように見分ければ良いだろうか。
- ・ドーピングをするという考えに至らなくさせるにはどうしたら良いのだろうか
- ・オリンピックでドーピングがあった場合メダルがはく奪されて繰り上がりでメダルを獲得できるという制度は良いものなのか

2. 講演会「社会で求められるコミュニケーション力と漢字の重要性」(5/30)

“コミュニケーション”をテーマに、ご講演頂きました。
質疑応答の時間の積極的で深い問い、および終了後の多くの個別質問が印象的でした。



○質疑応答の質問例

- ・AI がもつ思考力と、人間がもつ思考力はどのように違うのか
- ・思考力以外に、これから人間が求められる能力は何か
- ・SNS の発達でコミュニケーション能力は低下しているのか、しているとすれば具体的にどのようなことが見られるのか。
- ・現代の保守的な聞き的なコミュニケーションを、内容が濃く活動的なコミュニケーションにするにはどのようなことに心掛ければいいのか。

○授業後に立てた「問い」例

- ・自分から話しかけた方がいいのか、それとも相手の趣味などをよく知ってから話しかけた方がいいのか。
- ・「人を動かす力」とは
- ・人間にしかない、または人間に求められる思考力とは
- ・AI は、人間の何を超えてくるのか。

3. 講演会「笑って学ぶ国際協力・SDGs」(6/6)

○講演内容

- (1) お笑い芸人による SDGs (持続可能な開発目標) の説明・紹介
- (2) カードを用いたババ抜き形式のワークショップ

○生徒の感想

- ・ユーモアを交えながら国際状況について話していたのでスムーズに話がいった
- ・SDGs についてカードゲームで楽しく学ぶことができてよかった。



○今後の予定

これから夏休みの活動(課題調査・奉仕体験活動)に向けて準備を進めていきます。特に課題調査は、今まで学んできた知識や学習方法を用いて「自分は何に興味を持っているのか」を知覚することで、「より良く生きる」ために知り・学び・育てる力を成長させることを目標としています。小手先の調査に終わらず、自分の興味関心を深めることで「知る喜び」に気付いて欲しいと思っています。